

お知らせ



## 「地域・家庭とともに歩む川部中」 校長 齊藤

4月に川部中学校に赴任してから1年が過ぎようとしています。年齢を重ねるごとに1年が過ぎるのが早く感じるようになっていましたが、今年は一層早く過ぎ去っていったようです。

今年度の川部中学生の輝きは、保護者・地域の皆様にはどのように映ったでしょうか。

秋元 P T A 会長・中山体育後援会長を中心に保護者の皆様の御理解と御支援のもと、生徒たちが授業や生徒会活動、部活動など様々な場面であふれる笑顔を見せてくれたことを何よりもうれしく思っています。



部活動では、ソフトボール部の県大会入賞をはじめ、それぞれの目標に向け懸命にプレーする姿に引きつけられました。初めて望遠レンズを手にファインダー越しに生徒の表情を見ると、子どもたちの闘争する眼、満面の笑みなど全力で競技する生徒たちに感動すら覚えました。また、保護者も生徒たち以上に興奮し、大きな声で応援している姿を目にし、幸せな子どもたちだと改めて感じました。

川部中学校の自慢できることとして、外部講師による事業があげられます。専門的な講義、本物を鑑賞する活動、様々な体験活動など職員が奔走し、子どもたちに貴重な経験をを提供しています。その中でも3年ぶりに開催した「ヤングアメリカンズ」では、数時間のうちに表情が変わり、生き生きと活動する生徒に驚きました。小規模校だからこそできること、川部中でしか体験できないことが数多くありました。多くの大人と接することで生徒たちの表現力や思考力、判断力そして生きる力が地域の方々の手によって高められています。

このように地域や家庭に支えられている川部中です。さらに必要なことは、子どもたちが地域の良さを知り、地域のために今何ができるのか、将来どんな地域を創っていきたいのかを考え、行動に移していくことです。家庭・地域とともに歩み、地域に貢献できる川部中生を今後も育てていけるよう今後も取り組んで参りますので御協力をお願いいたします。

## 「PTAこの1年」 P T A 会長 秋元

保護者の皆様には日頃よりPTA活動にご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。平成30年度の活動行事も、役員、保護者の皆様、そして諸先生方の御協力のもと、無事終える事ができます事を心から御礼申し上げます。



川部中学校の学校行事は生徒、先生方が中心となり行われていますが、保護者の皆様の支えなしでは成り立ちません。各種行事に多数の参加をいただき、サポートしていただいた事、感謝申し上げます。

PTA会長という大きな仕事を頂き、責任感も今までになく感じた1年でしたが、振り返るとコミュニケーション不足により、PTAと学校の橋渡しがしっかり出来なかった気がします。もっと保護者が学校へ親しみを感じ、生徒、先生、親、そして地域社会が一体となれる様な活動をできれば良かったなあと反省しております。

これからの少子化に伴い、いろいろな困難が出てくると思われませんが、今以上の連携を大切に、川部中学校の伝統を繋いで頂きたいと思えます。今後ともご協力よろしくお願い致します。一年間、お世話になりました。ありがとうございました。

## 「川部中この1年」 体育文化後援会長 中山

体育文化後援会長の中山です。1年間、保護者の皆様と先生方の多大なるお力をお借りして、無事に大役を務めさせていただくことができました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

本年度の部活動は、ソフト部、陸上部の県大会出場をはじめ、数々の輝かしい成果を残す事ができました。生徒の皆さんの毎日のたゆまぬ努力と、保護者の皆様、先生方の熱いサポートがあったからこそ、成しえた偉業だと思っています。1年間の部活動を通して培った経験や体力を、更に来年の部活動、卒業生は高校生活に活かして大きく成長してほしいと願います。



文化活動でも生徒主体で開催され大成功をおさめた四時祭や、ピアノの名演奏に酔いしれたおでかけアリオス、ヤングアメリカンズなどたくさんの思い出ができました。中学生生活は特に心と身体の変化・成長が顕著に現れる時期です。様々な活動からたくさんのことを学び、強い体と心で羽ばたいてほしいものです。

また次年度も、生徒のみなさんの活躍をあたたく見守りたいと思えます。新役員の皆様、保護者の皆様、先生方、どうぞよろしくお願い致します。

また次年度も、生徒のみなさんの活躍をあたたく見守りたいと思えます。新役員の皆様、保護者の皆様、先生方、どうぞよろしくお願い致します。

## 「青春の辞書に失敗という言葉はない」 前期生徒会長 秋元

3年生となり、生徒会長となり、歩んできたこの1年間。たくさんのことに挑戦し、学ぶことの多かった1年でした。

僕たち生徒会は楽しい「楽校」造りを目指し、今ある行事の充実や生徒会企画などたくさんのことに力を注いできました。生徒会長という立場になって迎える行事はどれも新鮮なものでした。普段、感じる事の無いような重圧や緊張を感じることも多くありました。



ですがそれ以上に楽しさが込み上げていたのを覚えています。行事を終えてみると毎回の様に普段の学校生活は沢山の支えがあってこそものなのだと感じます。先生方や地域の皆さん、保護者の方には感謝の気持ちでいっぱいです。

この先僕たちは長い人生を歩んでいきます。その中の青春という時間はほんの少ししかありません。イギリスの小説家、ブルワー・リットンという人の言葉にこんなものがあります。「青春の辞書に失敗という言葉はない」何もかもが経験となり自分の糧になっていくこの時期

に僕は川部中学校で培ったものを活かしたくさんのことに挑戦していきたいとおもいます。この川部中は、地域の皆さんの優しさや先生方の熱意、僕たち生徒の元気で成り立っています。これからもこの伝統が続いていって欲しいと思っています。本当にありがとうございました。

## 「川部中の子供たちの未来へ」 総務委員長 田子

川部中学校は小規模校の良さを十分に生かし、生徒たちの可能性を存分に引き出すことの出来る素晴らしい学校です。生徒たちと先生方の間はもちろん、PTA間の信頼関係も厚く、そのチームワークで思春期の荒波にもまれながら将来を模索する生徒たちを、しっかりと支えてこられたのではないのでしょうか。先生方、保護者の皆様、地域の皆様のご尽力に心から御礼申し上げます。



私事ですが、ほとんどの生徒の出身である川部小学校で20年間ほど、絵本の読み聞かせボランティアをしています。「ぜつぼうの濁点」作・原田宗典 絵・柚木沙弥郎を紹介し、今年で終わりとなるPTA会員としての活動の区切りとしたいと思います。

『遠い昔、言葉の世界にひらがなの国がありました。

ある日、濁点が道に落ちていました。「ぜつぼう」の濁点でした。

自分がいることで良いことのない主人を思いやり自ら捨ててくれと懇願したのでした。

その後「せつぼう」となった主人を見送り、「ゆすり」に拾われそうになりますが、

“おれが拾っちゃ悪いが商売にならない”と断られたりし、旅を続けます。

が、ある日「おせわ」に「し」の沼にほおりこまれます。

これでよかったのだ。と絶望を感じる濁点。しかし

沼深く沈んでゆく濁点のつぶやきは「きぼう」になり浮かび上がり、濁点は

「きぼう」と一つになり「きぼう」となったのです。』

川部中学校に学ぶ全ての子どもたちに素晴らしい未来と希望が待ち受けている事を心から願っております。長い間大変にお世話になり、ありがとうございました。

## 「厚生委員会1年の反省」 厚生委員長 蛭田

PTA厚生委員会は、学校保健委員会を通し、食育と子供達の健康について小学校と様々な意見交換をしました。今後も引き続き学校と家庭の連携を密にし、子供達の体の健康も含め、心も元気で、日々笑顔が絶えぬまま成長し、心身ともに豊かな人間性を育める環境になるよう努力したいと思います。



なかなか会に参加することができずに申し訳ありませんでした。最後に、この1年間無事に終えることができたことを先生方、保護者の皆様に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

## 「施設委員会1年間の反省」 施設委員長 芳賀

本年度施設委員はプール清掃、奉仕活動を行いました。

プール清掃では先生方を始め保護者の皆様と底に沈んだ落ち葉や砂を集め見事に綺麗にすることができました。体育の授業で水泳などを楽しんで学習する子供の姿が見えました。



奉仕活動でも先生方、保護者の皆様、子供達で学校全体をキレイにすることができたと思います。これからも皆様の手で川部中学校を守っていってけると願っております。

## 「補導委員会」 補導委員長 深谷

本年度の補導委員会は昨年同様、校長先生をはじめ、先生方にご協力を頂きまして、大きな事故等なく無事に1年を終える事が出来ました。



子供達一人一人が、目標実現のために真剣に取り組んだ結果だと思っております。昨今スマホを使ったSNSでのいじめや不適切な投稿などが社会問題化してきています。親の立場でしっかり目を光らせていくことが大切です。子供達が安心、安全に生活が送れる様に、地域人として引き続き、協力をしていきたいと思えます。

## 「ソフトボール部の1年間を振り返って」 ソフトボール部保護者会 会長 豊田

「県大会で一勝」という目標を掲げ、スタートした新チーム。三年生6名に、新一年生11名を迎え、2年ぶりに川部中単独チームとして、大会に出場することが出来ました。当初掲げていた目標を「優勝して県大会へ」に変え、練習に取り組む子供達の姿勢に闘志を感じました。

齋藤先生、松本先生のご指導のもと、三年生を中心にチーム一丸となり、中体連市大会で優勝し県大会に駒を進めました。いわき市の代表として、炎天下の中、校長先生をはじめとし多くの声援、ご支援を受け、県大会第3位という成績を残すことができました。有言実行、三年生は自分たちで目標を持ち、最後まで快進撃を続けてくれました。

先生方、保護者のみなさん、そして昨年まで一緒に戦った江名中ソフト部の部員、保護者のみなさんの温かい激励、子供達を取り巻く環境は、いつも温かく、子供達の背中を押してくれました。部員は少ないですが、たくさんの声援が子供たちをサポートして下さったことに感謝申し上げます。本当ありがとうございました。



そして、ここまで成長した三年生6名を保護者代表として誇りに思っています。そんな先輩達の背中を追い、新一年生11名も次のステージに向かって、スタートを切りました。

頼もしい11名です。これから試練の時を迎えると思いますが、川部中ソフト部の伝統を守り、どこまでも突き進んでいってくれることを願っています。

## 「卓球部保護者会この1年」 卓球部保護者会長 蛭田

私たち保護者は、試合を観戦しても、参加することは出来ません。保護者の出来ることは、目の前で頑張っている生徒を目一杯応援し、サポートすることでした。

試合は生徒たちの勝負。普段、学校や家庭では見せない試合での姿に、わたしたち保護者は幾度となく歓喜し、涙しました。

試合を重ねるごとに成長し、それと同時に他校の生徒もどんどん強くなり、それぞれ懸命に努力した分、勝った時の喜びは大きく、負けた時の悔しさは計り知れなかったことでしょう。

また日々忙しい中で、保護者の皆様には例年にないほどサポート・協力して頂きました。大勢の保護者の皆様の応援が、生徒にとって試合での励みに繋がりました。

大きな結果を残すことは出来ませんでした。目に見えない大きな何かを生徒も保護者も掴んでくれたと思います。

それもこれも、中学から初めて卓球を経験した部員たちを、顧問の先生方がしっかり指導をして頂いた結果であり、何事も真剣に、丁寧に向き合えば強くなれると教えてくれた賜物です。



私事ですが、最後の大会は本当に忘れることは出来ません。「この1球が最後」そう思って観戦し、惜しくも敗北した瞬間、涙が止まりませんでした。我が子だけではなく、部員全員の最後の試合は全て涙が溢れました。この3年間、暑い体育館の中でも、寒い体育館の中でも、一生懸命練習した生徒たちの姿が走馬灯のように駆け巡りました。ああ、終わってしまったと感極まりましたが、観戦している保護者が、涙が出るほどとてつもない成長をした部員たち、叱咤激励しながら指導してくれた先生方、そして保護者の皆様のサポートのおかげ

で、たった3年間、されど3年間、貴重な経験をさせていただきました。

皆様の多大なご支援とご協力を頂きましたことをこの場を借りてお礼申し上げます。

## 「陸上部のこの1年」 陸上部保護者会長 秋元

日頃から高萩先生のご指導のもと、各自のスキルアップを目指し、毎日のトレーニングに取り組んでいた子どもたち。自己記録を更新し、成績を残そうと一生懸命でした。新たな競技に挑戦する姿も見られました。

大会の時、自分が出場しない時は、アップに付き合い、見守り、サポートし、応援もみんなで協力してチーム一丸となっていました。



大会において成績を残せた子も、残念ながら残せなかった子も、本当に頑張っていたと思います。保護者の皆様には大会毎に、送迎・応援などサポート・ご協力いただきありがとうございました。この場を借りて感謝申し上げます。

## 「生涯スポーツとの出会い」 水泳部保護者会長 田子

始めに水泳部の活動に、ご指導ご協力を頂いたすべての方々に心からの感謝を申し上げます。

水泳は個人競技であると同時に団体競技でもあります。今年度はリレー出場は叶いませんでしたが、6人の部員たちはそれぞれ自分の位置で、それぞれの精一杯の努力を重ねて、着実に進歩することが出来ました。頑張るチームメイトの姿は部員たちにとって、どれほどの支えになったことでしょうか。



シーズンは学校のプールで。悪天候時やオフシーズンは筋トレ。

年間を通して市内のスイミングスクールをお借りしての練習にも励みました。

参加した大会の一つに「いわき市スポーツ大会・水泳競技大会」があります。小学1年生から80歳のベテランまでが競技に挑みます。

一生継続けられ楽しめる「水泳」に出会えたことを心の糧にして未来に羽ばたいていって欲しいと願います。

## 川部中学校学校案内

[令和2年度年間行事予定表](#)[令和元年度学校評価](#)[令和元年度部活動年間活動計画](#)[部活動方針](#)[令和元年度全国学力・学習状況調査結果](#)[学校災害対応マニュアル](#)[平成30年度PTA会報](#)[川部小中危険箇所マップ](#)

## 学校の連絡先



編集

〒979-0153

いわき市川部町坂下18番地の1

TEL 0246-65-2223

FAX 0246-65-2261

## QRコード



編集



## アクセスカウンター

4 5 7 0 8 6